

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 21 年 8 月 6 日 (2009.8.6)

【公表番号】特表 2008-523732 (P2008-523732A)
 【公表日】平成 20 年 7 月 3 日 (2008.7.3)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-026
 【出願番号】特願 2007-545703 (P2007-545703)
 【国際特許分類】

H 0 4 W 36/36 (2009.01)
 H 0 4 W 40/34 (2009.01)
 H 0 4 W 76/02 (2009.01)
 H 0 4 W 84/12 (2009.01)
 H 0 4 W 88/08 (2009.01)

【 F I 】

H 0 4 B 7/26 1 0 7
 H 0 4 L 12/56 1 0 0 D
 H 0 4 B 7/26 1 0 9 G
 H 0 4 L 12/28 3 1 0

【手続補正書】
 【提出日】平成 21 年 6 月 17 日 (2009.6.17)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

I P マルチメディアサブシステム (I M S) によって提供されるユーザサービスのためのセルラネットワークと、無線ローカルエリアネットワーク (W L A N) との間のインターワーキング方法であって、

無線送受信ユニット (W T R U) が、W L A N との接続を確立するステップと、

前記 W T R U が、前記 I M S からのユーザサービスのための I P セッション を呼び出し、前記 W L A N から、前記 I M S へのパケットデータゲートウェイ (P D G) に対し確立された I P トンネルを介して前記ユーザサービスを受信するステップと、

前記 W T R U が、セルラネットワークにアクセスし、該セルラネットワークを介し前記 I M S との接続を確立するステップと、

前記 W T R U が、前記 W L A N から前記セルラネットワークへのハンドオーバを実行して、該ハンドオーバ後も前記セルラネットワークを介して前記ユーザサービスを継続的に提供するようにするステップと

を備えることを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記 P D G は、前記ハンドオーバが実行された後に呼経路から除去され、前記 I M S と前記 W T R U との間の前記呼経路は、ゲートウェイ G P R S サポートノード (G G S N) を介して確立されることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記 P D G は、前記ハンドオーバが実行された後も呼経路上に残り、前記 I M S と前記 W T R U との間の前記呼経路は、ゲートウェイ G P R S サポートノード (G G S N) および前記 P D G を介して確立されることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記 W L A N から前記セルラネットワークへのハンドオーバを実行するステップは、前記 W T R U がハンドオーバの開始メッセージを送信するステップを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記ハンドオーバの開始メッセージは、トンネルエンドポイントを識別することを特徴とする請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記ハンドオーバの開始メッセージは、ユーザ I D を識別することを特徴とする請求項 4 に記載の方法。

【請求項 7】

前記ハンドオーバの開始メッセージは、無線リソースを識別することを特徴とする請求項 4 に記載の方法。

【請求項 8】

前記ハンドオーバの開始メッセージは、周波数チャネルを識別することを特徴とする請求項 4 に記載の方法。

【請求項 9】

前記ハンドオーバの開始メッセージは、優先度を識別することを特徴とする請求項 4 に記載の方法。

【請求項 10】

前記 W T R U は、前記セルラネットワークとの接続が確立された後に前記 W L A N との接続を終了することを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

前記 W T R U は、前記 W L A N との接続を同時に維持されることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 12】

I P マルチメディアサブシステム (I M S) によって提供されるユーザサービスのためのセルラネットワークと、無線ローカルエリアネットワーク (W L A N) との間でインターワーキングする無線送受信ユニット (W T R U) であって、

前記 W L A N および前記セルラネットワークの双方と通信して、前記 I M S からのユーザサービスのための I P セッションを呼び出し、前記 W L A N から、前記 I M S へのパケットデータゲートウェイ (P D G) に対し確立された I P トンネルを介して前記ユーザサービスを受信するように構成されたデュアルモード送受信ユニットと、

前記 W L A N から前記セルラネットワークへのハンドオーバを実行して、前記 W T R U が、該ハンドオーバ後も前記セルラネットワークを介して前記ユーザサービスを継続的に提供するようにするハンドオーバ制御部と

を備えることを特徴とする W T R U 。

【請求項 13】

前記 P D G は、前記ハンドオーバが実行された後に呼経路から除去され、前記 I M S と前記 W T R U との間の前記呼経路は、ゲートウェイ G P R S サポートノード (G G S N) を介して確立されることを特徴とする請求項 12 に記載の W T R U 。

【請求項 14】

前記 P D G は、前記ハンドオーバが実行された後も呼経路上に残り、前記 I M S と前記 W T R U との間の前記呼経路は、ゲートウェイ G P R S サポートノード (G G S N) および前記 P D G を介して確立されることを特徴とする請求項 12 に記載の W T R U 。

【請求項 15】

前記ハンドオーバ制御部は、前記 W T R U がハンドオーバの開始メッセージを送信することによって、前記 W L A N から前記セルラネットワークへのハンドオーバを実行するよう構成されたことを特徴とする請求項 12 に記載の W T R U 。

【請求項 16】

前記ハンドオーバの開始メッセージは、トンネルエンドポイントを識別することを特徴とする請求項 15 に記載の W T R U。

【請求項 17】

前記ハンドオーバの開始メッセージは、ユーザ I D を識別することを特徴とする請求項 15 に記載の W T R U。

【請求項 18】

前記ハンドオーバの開始メッセージは、無線リソースを識別することを特徴とする請求項 15 に記載の W T R U。

【請求項 19】

前記ハンドオーバの開始メッセージは、周波数チャネルを識別することを特徴とする請求項 15 に記載の W T R U。

【請求項 20】

前記ハンドオーバの開始メッセージは、優先度を識別することを特徴とする請求項 15 に記載の W T R U。

【請求項 21】

前記デュアルモード送受信ユニットは、前記セルラネットワークとの接続が確立された後に前記 W L A N との接続を終了するよう構成されたことを特徴とする請求項 12 に記載の W T R U。

【請求項 22】

前記デュアルモード送受信ユニット W T R U は、前記 W L A N との接続を同時に維持されるよう構成されたことを特徴とする請求項 12 に記載の W T R U。